

総研大文化フォーラム 2019

Sokendai
Bunka Forum
2019

境
界
を
行
き
交
う
知

参加者
募集!!

1日目

11/30 (土) 13:00 ~

基調講演 ロバート キャンベル 国文学研究資料館長
研究発表会 口頭発表・ポスター発表

2日目

12/1 (日) 9:30 ~

シンポジウム、ギャラリートーク
研究発表会 口頭発表・ポスター発表

会場

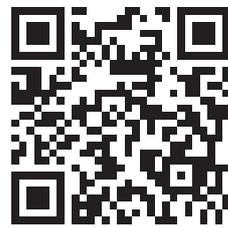
人間文化研究機構 国文学研究資料館

東京都立川市緑町10-3

申込方法

聴講を希望する方は、総研大文化フォーラム2019のWebサイトをご覧いただき、所定の方法でお申し込みください（事前登録制）

<https://www.soken.ac.jp/event/6257/>



一般聴講可能です。

主催

総合研究大学院大学文化科学研究科

問合せ

国立大学法人 総合研究大学院大学

学務課学務支援係 Tel. 046-858-1583 E-mail : gshien@ml.soken.ac.jp

S O K E N D A I

国立大学法人
総合研究大学院大学
SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

総研大文化フォーラム 2019

テーマ
境界を行き交う知



1日目 **11/30** (土) 12:30 受付
13:15 開会

2日目 **12/1** (日) 9:30 受付開始

基調講演 13:30~14:15

「圏外」のススメ

—文学研究から見えてくるものについて—

ロバート キャンベル 国文学研究資料館長

ポスター発表 14:30~15:25

○山村の畑作における在来作物栽培の変化

—南アルプス周辺の井川地域を事例として—

川上 香 (地域文化学専攻)

○佐賀県内における鉦を用いる浮立の伝承状況

古澤 瑞希 (比較文化学専攻)

○地質学と山水画の融合：高島北海の『写山要訣』

陳 イジェ (国際日本研究専攻)

○駒札考—日本人はなぜ尖頭五角形の板が好きなのか—

小島 道裕 (日本歴史研究専攻)

○国文学論文目録データベースの可能性と研究資源化

相田 満 (日本文学研究専攻)

野本 忠司 (日本文学研究専攻)

○蔵書印データベースの高次利用に向けた情報拡充と

その展開

青田 寿美 (日本文学研究専攻)

○新エネルギー—核融合発電とは?—

山下 東洋 (核融合科学専攻)

○『読書矩』『研北紺珠』から見た古賀侗庵の漢学素養

口頭発表 16:25~17:55

①中世地震伝承の研究

児島 啓祐 (日本文学研究専攻)

②新旧技術の組み合わせ—中国内モンゴルアラシャー盟におけるラクダ牧畜の事例から

WU WUYUNGA (比較文化学専攻)

③中国において分家が意味すること

—中国四川省を事例に—

星野 麗子 (比較文化学専攻)

問合せ

国立大学法人 総合研究大学院大学

学務課学務支援係

Tel : 046-858-1583 E-mail : gshien@ml.soken.ac.jp

詳しくは総研大文化フォーラム 2019 の HP をご覧ください

<https://www.soken.ac.jp/event/6257/>

ポスター発表 9:30~10:00

※ポスターは、発表者全員分を2日間通して掲示しています

口頭発表 10:05~11:30

①AIによるくずし字認識、

古典文学と情報学の世界的なコラボレーション

カラーヌワット・タリン (ROIS-DS CODH/国立情報学研究所)

②『夷堅志』における動物説話の特徴をめぐって

黄 昱 (国文学研究資料館)

③『御堂関白記』の仮名について

倉本 一宏 (国際日本研究専攻)

シンポジウム 13:15~15:25

「知の境界を行き交う—学際知の実践と展望」

○オーロラと古典籍の研究

片岡 龍峰 (極域科学専攻)

○言葉の統計学と学際研究

持橋 大地 (統計科学専攻)

○近代東アジア文化史の再構築

—専門知、学際知、そして国際知からの挑戦

劉 建輝 (国際日本研究専攻)

会場

人間文化研究機構 国文学研究資料館

東京都立川市緑町 10-3

